

地方創生の主な取組について

【Ⅰ ひとづくり】

◎越境アルバイトについて ……P2～3

【Ⅱ しごとづくり】

◎観光都市づくり:インバウンド誘客に向けて ……P4～11

◎日本遺産を活用した地域活性化の取組 ……P12～14

◎稼ぐ地域づくり スタートアップについて ……P15～17

越境アルバイト＋地域交流により 地域の担い手確保・関係人口創出・Iターン促進

ターゲット：鳥取市外の若年層（大学生など）

越境アルバイトと地元交流により、関係人口から移住者へ

Iターン
促進

働きながら地域と交流いただくことで、「もしも鳥取市で生活したら」を考えてもらえる。

滞在中に観光や地域と関わる機会を設ける

関係人口創出

人手不足に悩む地域事業者の働き手確保につなげる
(宿泊業・飲食・農業・観光業など)

働き手確保

民間事業者による越境アルバイトマッチングサイトを活用

<利用者（旅行者）>

- 登録ユーザー数は約5万人
- 旅をしながらアルバイトをして報酬を得る。（旅費等に充てる）
- 地域の人と交流したい若者が多い。

<受入事業者>

- 全国1,500事業者が登録
- 事業者は利用者へ報酬を支払う
- マッチング手数料は事業者負担
- 利用者の宿泊先は事業者が確保

- ・マッチング手数料支援
- ・おためし体験施設の活用等

行政支援

民間事業者
との連携



越境アルバイトのイメージ・想定事例

余暇にアウトドア体験！



シャワークライミング (佐治)



サーフィンに挑戦 (白兔)

働きながら旅をしたい！

お手伝い (アルバイト) + 旅



余暇に地域交流！



街並み散策 (鹿野)



市内の温泉巡り (吉岡他)



アクティビティ

砂丘等でのレジャー受入・案内業務を経験し当市のリピーターに



キャンプ場

佐治・用瀬等の良質な当市のアウトドア環境のポテンシャルを認識



農業

らっきょうや梨、いちご等の収穫作業を通して当市農作物のファンに



民泊・宿泊業

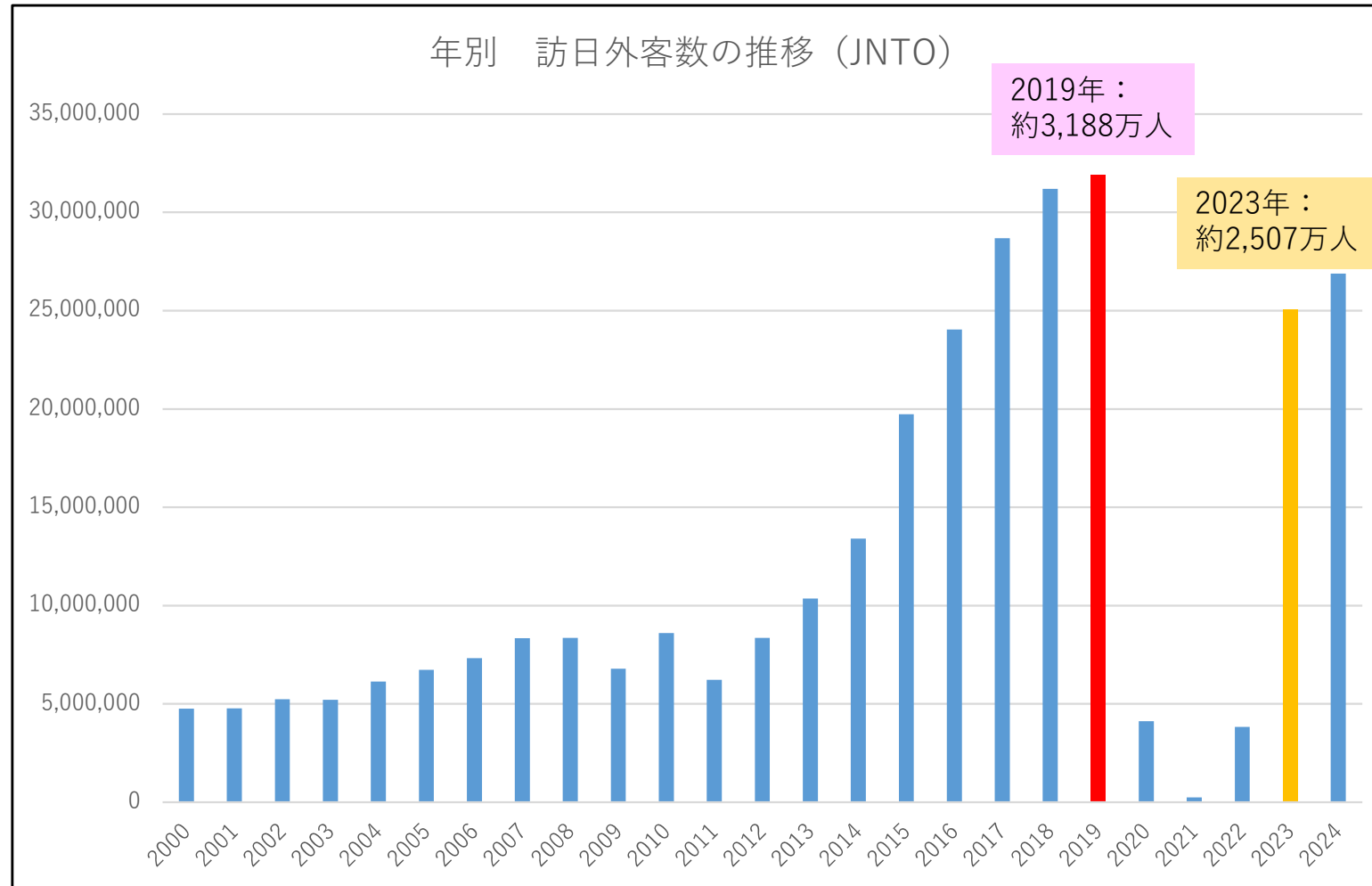
旅行者・地域住民と関わりを通じて当市の魅力を体験しアンバサダーに

仕事を通じ地域住民と関わり将来的な当市の関係人口に

■ 観光都市づくり：インバウンド誘客に向けて

経済観光部 観光・ジオパーク推進課

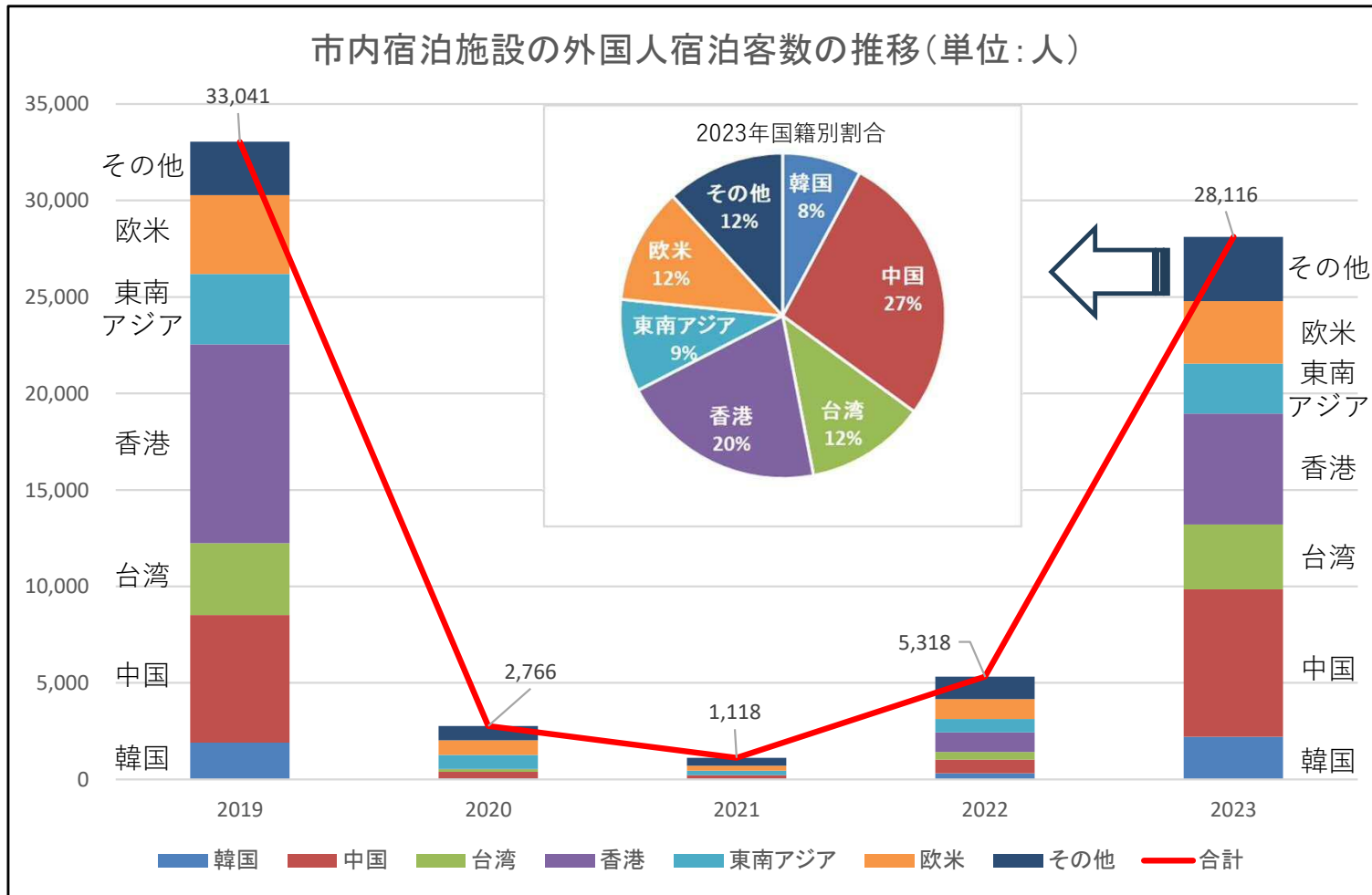
1. 日本を訪れる訪日外国人客数の推移



2000年代に入り日本全体の訪日外国人客数は急速に増加しました。
2019年にピークを迎え、その後、コロナ禍では一時的に減少しましたが、今年10月時点では既に年間累計3,000万人を過去最速で突破しており、急速な回復を示しています。

■ 観光都市づくり：インバウンド誘客に向けて

2. 本市のインバウンド需要の状況 その1



2023年はコロナ禍前の2019年と比較し約85%まで回復を見せています。

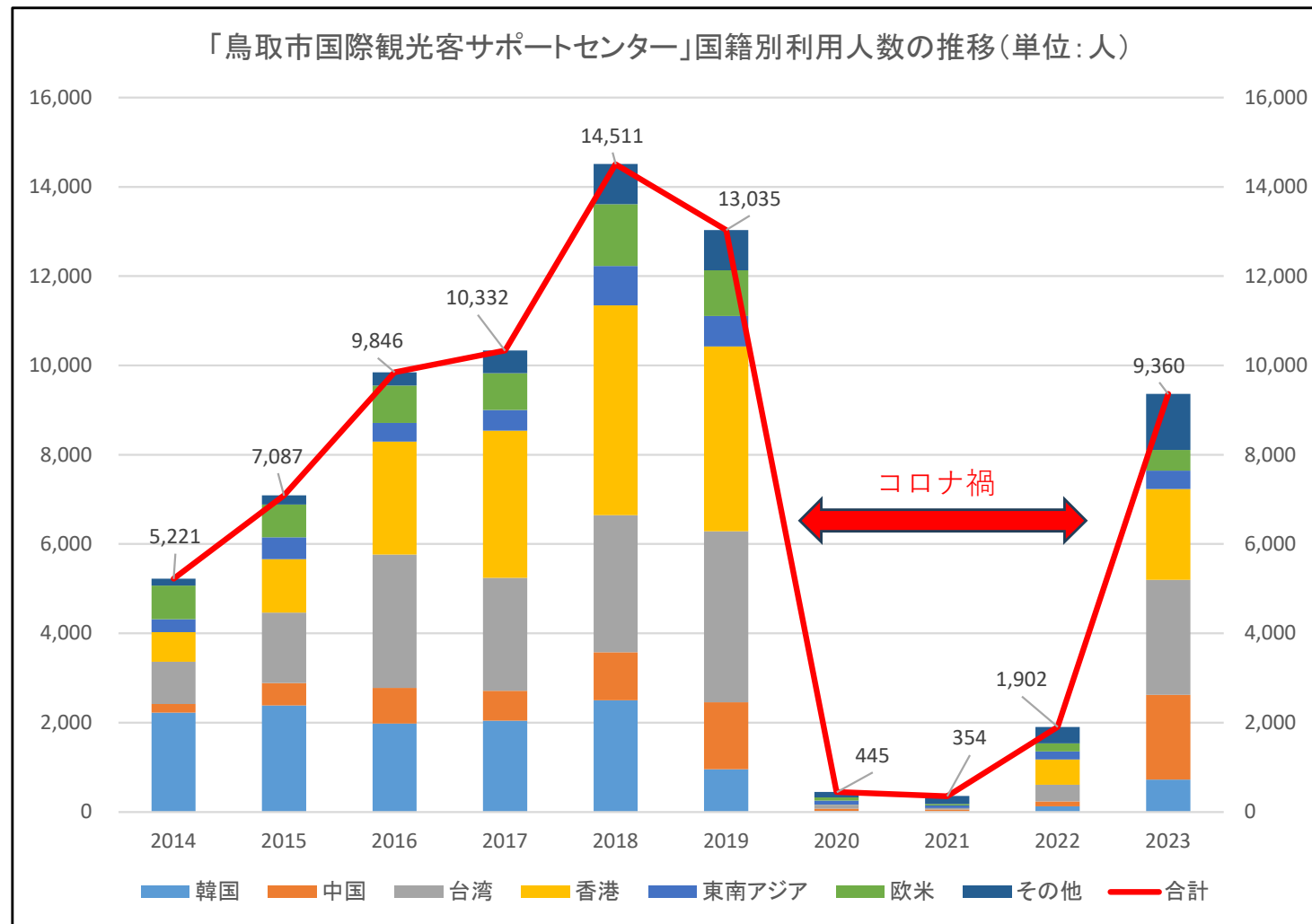
中国・香港・台湾を筆頭に東アジア地域が約7割を占めています。

2024年11月末現在で21,900人泊となっており、コロナ禍前のピーク時同等の3万人泊/年に達する見込みです。

■ 観光都市づくり：インバウンド誘客に向けて

経済観光部 観光・ジオパーク推進課

2. 本市のインバウンド需要の状況 その2



2022年10月以降入国規制が緩和されインバウンド需要が急速に回復し、外国人向け観光案内所である「鳥取市国際観光客サポートセンター」の利用者も2023年では2019年と比較し約72%まで回復を見せています。

2024年11月末現在で既に9,253人に達しており3月末時点では昨年を大きく上回り1万人を超える見込みです。

■ 観光都市づくり：インバウンド誘客に向けて

3. 情報発信力の強化

(1) 海外プロモーション

- 台湾現地旅行博覧会TTEへの出展
- 現地人気ブロガーによるFAMトリップ（台湾×1回・欧米豪×1回）
- HISパリアンテナショップでの鳥取PRブースの出展



- 主な記事内容
日本、FIT、女子一人旅行
- ブログ「歐拉。旅行不孤單」
- 公式サイトURL
<http://aura.tw/>
- Facebook フォロワー6.4万人
(2024年07月現在)

歐拉 Aura さん

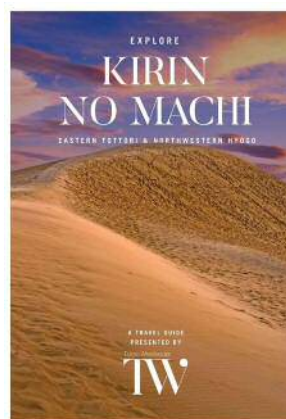
(2) SNSによる定期的な情報発信

- facebook『鳥取市・鳥趣事』（月9本×12か月＝108本、フォロワー6.2万人）



(3) 多言語パンフレット作成

- 英語・仏語パンフレットの作成



麒麟のまち圏域で制作した英語パンフレット

■ 観光都市づくり：インバウンド誘客に向けて

4. 受入環境整備の充実

(1) 鳥取市国際観光客サポートセンターの運営

- JR鳥取駅構内にて英語・中国語・韓国語へ対応できるスタッフを配置し観光案内を実施
- 周遊タクシー受付、手荷物預かり、ボランティアガイドの運営支援



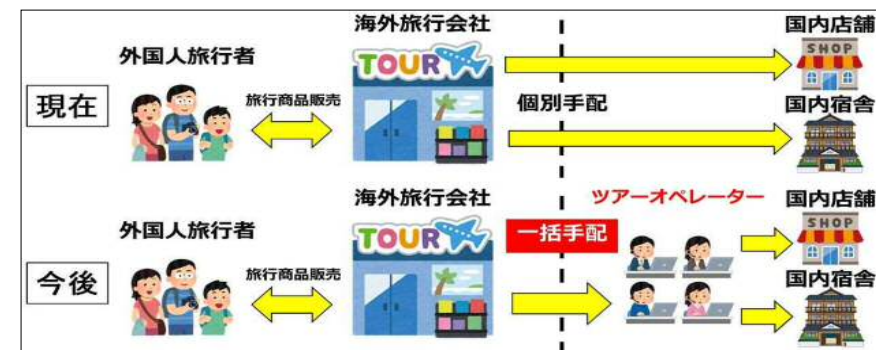
(2) 2次交通の充実

- 外国人観光客向け格安高速バスの運行（大阪-鳥取、姫路-鳥取）
- 外国人観光客格安観光周遊タクシーの運行（全23コース）
- 鳥取砂丘東西を結ぶ周遊タクシーの実証（R7予定）
- 市街地や砂丘を結ぶシェアサイクルの実証（R7予定）



(3) 受注体制強化

- （一社）麒麟のまち観光局によるツアーオペレーション機能の構築
- 鳥取市観光サイトへの直販システムの導入



■ 観光都市づくり：インバウンド誘客に向けて

9

経済観光部 観光・ジオパーク推進課

5. 高付加価値なコンテンツの開発や周遊商品等の造成・販売

(1) 高付加価値な観光コンテンツの開発

■ 富裕層向けローカルコンテンツ造成

牛ノ戸焼の窯元を訪ねるツアーや、市街地にある地産地消の店を巡るホッピングツアー、食事をしながら麒麟獅子を鑑賞するツアーなど、通訳ガイド付きのツアーを造成。



(2) 広域周遊商品等の造成と販売

■ ローカル鉄道を活かした周遊商品

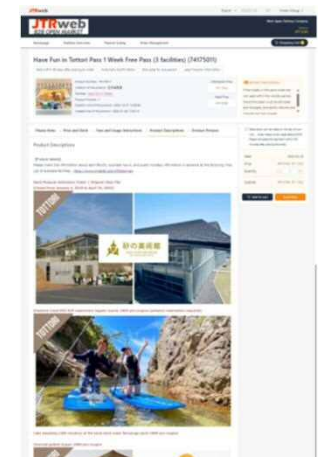
鳥取駅～若桜駅、上郡駅までの各駅周辺で御朱印めぐりなどテーマ性のある観光を促す商品造成

(R6年度実績：ガイド付きコンテンツ8種、長期滞在につながる周遊モデルルート2種)

■ JR「関西ワイドエリアパス」と連携した電子チケット販売

鳥取砂丘砂の美術館など10か所で活用可能なクーポン券がセットになったお得なJR旅券を販売

(R6.2～11月の販売実績：4,602件)



JR電子チケット「楽しい鳥取パス」

■ 観光都市づくり：インバウンド誘客に向けて

10

経済観光部 観光・ジオパーク推進課

6. 大阪・関西万博の開催を契機とする誘客促進（予定）

（1）鳥取県及び県内自治体と連携した誘客施策の推進

- 国内及び海外向けコナンミステリーツアーの開催
JRと連携した謎解きツアーへ参画。鳥取砂丘などをチェックポイントに設定し誘客を促進
- 関西パビリオン内への出展
麒麟のまち圏域がまとまり観光PRブースを出展

（2）万博会場内での催事への積極的な参加

- EXPOアリーナ特別催事「令和の万葉大茶会」
万葉集で詠まれた和歌のゆかりの地が連携し特別催事を開催。祭サミット（仮称）へ傘踊り団体を派遣し“しゃんしゃん祭”を世界へPR
- 「鳥取県の日」の催事参加
関西パビリオン催事会場へ郷土芸能団体を派遣し鳥取市の認知度向上を図る

（3）「鳥取市観光サイト」の多言語化

- （一社）鳥取市観光コンベンション協会が運営するウェブサイトの多言語化により、訪日外国人向けの情報発信力を強化

（4）砂の美術館第16期展示「砂で世界旅行・日本」の開催

- 開催期間：令和7年4月25日（金）～令和8年1月4日（日）255日間
- 内容：日本を象徴する景勝地をはじめ、寺社建築や浮世絵などの芸術文化、誰もが知る歴史の一場面などを砂像で再現

【2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）開催概要】

会場 夢洲（ゆめしま）（大阪市此花区）
期間 2025年4月13日～10月13日
来場者見込 約2,820万人（国内9割：2,470万人、海外1割：350万人）
※万博を契機とした鳥取県への来客者数 約740万人/県展示基本計画より



■ 観光都市づくり：インバウンド誘客に向けて

11

経済観光部 観光・ジオパーク推進課

7. 鳥取砂丘西側リゾートホテル開業をさらなる追い風に

1. 事業の概要について

鳥取砂丘西側に誘致を進めているリゾートホテルについて、マリオット・インターナショナルの最高級ホテルブランド「ラグジュアリーコレクション」の誘致が決定し、2028年6月の開業をめざすこととなりました。



建築場所：鳥取市浜坂1390番219、221他

敷地面積：約18,264㎡

建物階数：4階建2棟（1階部分半地下構造）

施設構成：オールデイダイニング、スペシャルティレストラン、ロビーラウンジ、プール、大浴場、スパ他

客室数：100～110室

※全室から鳥取砂丘と日本海が眺望

総事業費：150億円前後

客室単価：1室1泊6万円～

稼働率：70%

利用者数：年間60,000人（うち海外3割）

雇用人数：最大180人程度

2. 今後のスケジュールについて

- 令和 8年（2026年） 1月 造成工事着手
- 令和 8年（2026年） 6月 建築工事着手
- 令和10年（2028年） 2月 建築工事完成 工期26ヵ月
- 令和10年（2028年） 3月 開業準備
- 令和10年（2028年） 6月 開業（目標）
- 令和10年（2028年） 12月 変更協定書に定める開業期日（12月31日）



日本遺産を活用した地域活性化の取組

経 過

[企画推進部 文化交流課]

令和元年5月、麒麟獅子舞をはじめ、麒麟のまち圏域内の31の文化財で構成するストーリーが「日本遺産」に認定されました。これを受け、麒麟のまち圏域1市6町の行政及び観光協会と一般社団法人麒麟のまち観光局によって構成する「日本遺産『麒麟のまち』推進協議会」を設立し、「麒麟のまち」圏域の活性化に向けて情報発信や普及啓発などの取組を推進しています。

目 的

日本遺産ストーリーや構成文化財の情報発信、来訪者の受入体制の充実などに取り組むことにより、麒麟のまち圏域への来訪者の増加、圏域内での周遊の促進、住民意識の高揚を図ることで、圏域の活性化につなげます。

取組の概要

実施主体：日本遺産『麒麟のまち』推進協議会

1. 情報発信事業

- ウェブサイトによる情報発信
- 県内外でのイベント等でのPR など

2. 公開活用のための整備事業

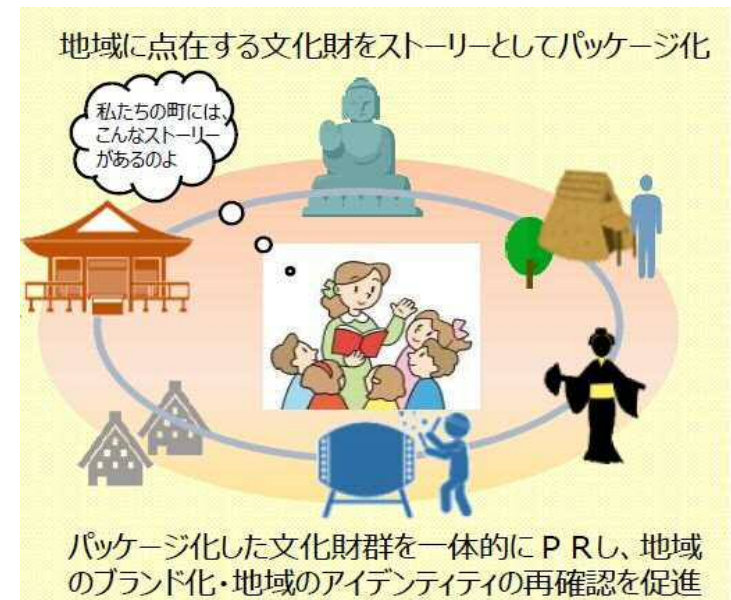
- 日本遺産情報発信拠点の整備
- 構成文化財解説版の設置 など

3. 普及啓発事業

- 麒麟獅子舞フェスタの開催 など

4. 人材育成事業

- 日本遺産子ども向けワークショップ開催 など



I 情報発信事業

- 多言語ホームページの制作
- TV放映・PR映像の制作
- パンフレットの制作
- 麒麟獅子舞VR動画の制作
- インバウンド向けプロモーション活動 など



ホームページ

PRパンフレットの制作



II 公開活用のための整備事業

- 麒麟獅子舞の情報発信拠点づくり
- インフォメーションコーナーの設置
- 構成文化財の解説板設置 など

因幡万葉歴史館（日本遺産展）



日本遺産構成文化財解説板

III 普及啓発事業

- シンポジウムの開催
- 麒麟獅子舞の観光体験プログラム化
- 麒麟獅子舞サポータークラブの運営 など

体験体感プログラム（石谷家住宅）



日本遺産フェスティバル（八王子）

IV 人材育成事業

- 日本遺産出前講座の開催
- 麒麟獅子舞ワークショップの開催など



子ども向けワークショップ

出前事業（環境大学）



今後の取組

- 令和元年度から取り組んできた日本遺産関連事業の課題を踏まえ、従来からの取組を継続しつつ、日本遺産を活用した**圏域全体のブランド化と地域ビジネスの創出**に向けた取組を推進していきます。



具体的な取組内容

- ① 食に係るコンテンツ造成
 - ・ 構成文化財である「風」「波」「砂」をイメージしたグルメの開発 など
- ② 着地型商品造成＋ガイド育成
 - ・ 着地型まちあるきガイド付き旅行商品造成
 - ・ インバウンド誘致商談会への参加 など
- ③ 情報発信強化
 - ・ 鳥取市観光サイトとの連携によるPUSH型情報発信 など
- ④ 地域の個人と企業を巻き込んだクラウドファンディングの活用
 - ・ 圏域の素材を活用した新商品の開発 など

◆ 麒麟の町の「雪グルメ」⇒真っ白なグルメ




◆ ロールケーキ ◆

◆ オムライス ◆

稼ぐ地域づくり スタートアップについて

- I 鳥取市の起業・創業・スタートアップ支援策について
- II 【策定中!!】鳥取市まちなか再生戦略（仮称）について

経済観光部 経済・雇用戦略課
企業立地・支援課



I・鳥取市の起業・創業・スタートアップ支援策について

①起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業

鳥取市都市計画マスタープランに定める「中心市街地拠点」及び「地域生活拠点」において、空き家、空き店舗などの遊休不動産をリノベーションしながら、活用することでエリアの価値向上に資する事業を起業・創業する事業者支援を行います。

<投資：とっとりまちづくりファンド>

支援対象者	起業・創業、第二創業をする法人
出資者	鳥取市、鳥取銀行、鳥取信用金庫
資金用途	設備資金
投資形態	企業が発行する株式の取得
投資規模・期間	投資上限は原則2000万円 (最長10年後に株式を買い取ること)
投資実績	2件 (2600万円)



★まちづくりファンドを活用して設立した(株)AKARI BREWING と(株)まるにわ

<融資：鳥取市まちづくり融資>

支援対象者	起業・創業、第二創業をする法人・個人事業主
取扱金融機関	鳥取銀行、鳥取信用金庫
資金用途	設備資金、運転資金
融資金額	3500万円以内
融資期間	1年以上10年以内
融資利率	年0.5000% (変動金利)
融資実績	6件 (1億550万円)

②鳥取市ふるさと起業家支援プロジェクト補助金

鳥取市の起業家に対してクラウドファンディング型のふるさと納税の仕組みを活用し、起業の際に必要な資金の調達を支援することにより、本市における起業を推進し、産業振興及び経済活性化を図ります。

補助対象事業	区分	補助対象経費	補助率	補助限度額
市内において新たに創業する者等による事業で以下に該当するもの ・地域課題の解決に資する事業 ・地域資源を活用した事業	クラウドファンディング調達相当額	創業前又は創業後において事業実施に必要な経費	10/10	クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して集めた寄付金の額
	鳥取市 上乗せ補助額	創業前又は創業後において事業実施に必要な経費で以下に該当するもの ・施設整備費 ・機械装置費 ・備品費	1/2	クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して集めた寄付金の額を超えない範囲で上限100万円

③鳥取市伴走型スタートアップ支援補助金

鳥取市内において商工団体に伴走支援を受けながら新たに創業する者等に対し、その事業に要する経費の一部について補助金を交付することにより、本市の産業振興及び経済活性化を図ります。

補助対象事業	市内において新たに創業する者等による事業
補助対象経費	創業等に要する経費で以下に該当するもの ・施設整備費・機械装置費・備品費・事務所等賃借料 ・広告宣伝費・法人設立関係費 ・その他事業に必要な経費として市長が認める経費
補助率	1/2 (10万円上限)
R6実績	12件 (主な業種：飲食業、建設業、物販、美容・エステ)

Ⅱ・【策定中!!】鳥取市まちなか再生戦略（仮称）について

新たな取り組みとして、中心市街地に起業・創業や働く場をつくることにより、若者やクリエイティブな人材を中心とした新たな人の流れを創出することで、エリアの価値を高め、民間投資の呼び込みにつなげます。

1. 策定の背景

(1) 高齢化・人口減少

本市の人口は減少傾向。老年人口（65歳以上）は増加する一方で、生産年齢人口（15～64歳）、年少人口（0～14歳）は減少。若者流出の要因として、魅力的な仕事や生活環境を求めて大都市などでの就業を選択することが考えられます。若者が働きたいと思うような企業の誘致や仕事づくりが必要です。

(2) 中心市街地の衰退

本市の中心市街地においては、事業所数、従業員数、商店数、年間販売額など、全体的に減少が続いており、地価公示価格も下落が続いています。空き店舗や空きビルなど、既存ストックの活用による企業の誘致や仕事づくりが必要です。

(3) 鳥取駅周辺の再整備

県東部圏域の玄関口であり、本市の中心市街地の核の一つである鳥取駅周辺エリアの再生に向け、約半世紀ぶりとなる駅周辺再整備の取組が進んでいます。駅周辺再整備と連動し、人々が同エリアを訪れる動機・目的を作ることが必要です。

2. 策定経過

(1) プロジェクトチームによる検討

県、市、中心市街地活性化協議会、若手経営者などで構成するプロジェクトチームにおいて検討を実施。

(2) 学生・若手経営者ヒアリング

鳥取大学、鳥取環境大学の就職担当や学生、地元の若手経営者に対するヒアリングを実施。

(3) 都市部の企業サウンディング

都市部の課題解決型企業を招聘し、市内の現況視察とサウンディング型事前調査を実施。

3. 基本的な方向性

(1) 企業誘致

都市部の地域課題解決型企業などを誘致することにより、若者就職の受け皿をつくとともに、地域が抱える課題の解決を図る。

(2) 起業・創業・スタートアップ支援

チャレンジする若者をサポートすることにより、まちの新陳代謝を促進するとともに、地域を担う次世代の育成を図る。

(3) 働き方改革

都市部の企業と地域の企業が関わる機会を設けることにより、新たな連携の取組や地域の企業のイノベーションの促進を図る。

(4) 転職なき移住

都市部のリモート勤務導入企業などと連携することにより、在籍しながらのU I Jターン移住や、地域に在りながらの就職の促進を図る。

4. 今後の取組（想定）

令和6年度	関係者ヒアリングなどを経て、令和7年3月に戦略を策定
7年度	遊休物件を活用し、戦略を推進するための拠点施設を整備 関係者などとともに拠点施設の運営体制を構築
8年度	官民連携による拠点施設の運営を開始